

人口	467,717(+286)
男	228,015(+119)
女	239,702(+167)
世帯数	152,691(+37)
60年12月末現在	

発行日	毎週日曜日
発行所	新潟市役所 新潟市西通6番町 8F 電話 (28)1000
編集	企画部広報課
印刷所	鶴第一印刷所

観光にいがたに役

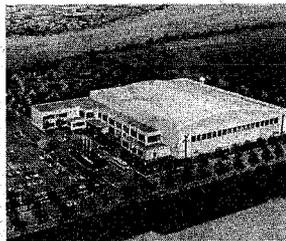
新潟駅前案内板を設置

新潟駅の万代口広場に、市内のイベント案内や観光モーターコースを盛り込んだ観光総合案内板が設けられたのをご覧ですか？

案内板は日、英の二カ国語で表示され、「イベント案内」は最新の情報を提供します。

「観光モーターコース」は、「シティ」と回り、「新潟の歴史」「新潟の文化」「自然と科学」の四つがテーマ、コース別に目的地までの所要時間や交通機関も表示されています。

案内板の斜め向かいには観光案内所があるため新潟市を訪れる観光客には大きなサービスになりそうです。



起工式でクワ入れをする若杉市長（写真上）
新潟地域産業振興センターの完成予定図（写真下）

物産見本市や万人の「メッセ」大会のほか、市民の皆さんによる室内スポーツ、演劇、講演会などの文化行事も活用できる大ホール「新潟地域産業振興センター」の起工式が二月二十日、鳥屋野潟西部の建設地にわたりました。特に大ホールの広さは市体育館の約二倍で、県内最大規模のもの、完成は来年三月の予定です。

完成は来年3月

鳥屋野潟西部に 多目的大ホール

新潟地域産業 振興センター

新潟地域産業振興センターは、地産産業の振興と販売促進、販路拡張、商品情報の提供などのための見本市や物産展、全国規模の大会の会場として、市が約二十一億円をかけて建設するものです。

建設地は鳥屋野潟西部（形学園女子短大用地の北側）で、敷地面積は約二万一千五百平方メートルです。

建物本体は鉄筋コンクリート造り一部二階建てで、延べ床面積は約八千三百平方メートル、大ホールのほか、玄関ホール

会議室、展示室、喫茶室があります。敷地内には二百台分の駐車場も用意されます。

大ホールは見本市、物産展博覧会、展示即売会をはじめ、バレエホール、室内テニス、グレートホール、パドミントンなどのスポーツ、サーカスやカーニバルなどのイベント、軽音楽会や演劇、講演会といった文化行事など多目的に活用できます。催し物の規模に応じ二に仕切つて使用できるほか、移動式ステージも備えられています。

特定重要港である新潟港、ソ連・ハバロフスク市と定期航空路が開かれている新潟空港に加え、上越新幹線の野野原駅、上越自動車道の全線開通など高速交通網が整備され、首都圏との交流が一層活発になっていきます。

同センターが新潟市若もともより、周辺市町村を含めた

61年度の 固定資産税 縦覧は3/1から

土地や家屋、償却資産に対する昭和六十一年度固定資産税、都市計画税の縦覧などの日程が次のようになっています。

縦覧 三月一日～二十日
納税期 三月二十二日
納税期 四月中旬
第二期納税期 四月十七日～三十日

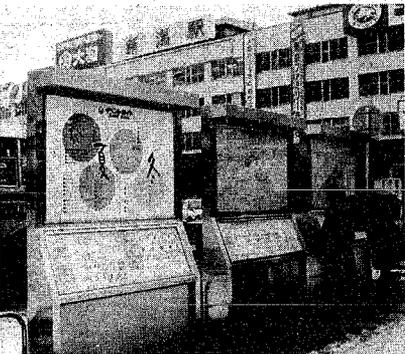
※縦覧とは、固定資産課税台帳に登録された固定資産の状況や課税の基となる価格などを、課税前に納税義務者らに関して、

不正使用を防止するため、新しい手続き方法は次のようになります。

①法務局の窓口にある価格通知書交付依頼書に必要事項を記入し、窓口へ提出。登記官の押印を受け、新潟市長あての交付依頼書を受け。

②市資産課税課の窓口でこの依頼書を提出。固定資産価格通知書の交付を受ける。

③法務局へ登記申請の添付書類として同通知書を提出。



新潟駅前にお目見えした観光総合案内板

不動産 価格通知書
交付手続きが
4月から変更

土地や家屋の所有権移転など法務局での不動産登記の際に、登録免許税の算定に必要となる「固定資産価格通知書（市資産課税で発行）」の交付手続きが、四月一日から変更になります。

「市報にいがた」が四月二十七日で通算一千号を迎えます。「市報にいがた」では、これを記念して、四月二十七日に「千号記念特集号」を発行します。

特集号では、「市報と私」と題した市民の皆さんの意見を募集し、金面にしています。市報にまつわる思い出、こんな利用法がある、など、市報に関するあなたのご意見をお寄せ下さい。

応募方法 三月二十日（必着）までに、ご意見（四百字以内）にまとめて住所氏名原則として匿名で不採用、年輪連絡用電話番号を記し、市広報課「市報と私」係（〒951西堀通一八六〇）へ。

掲載 四月二十七日発行の市報「千号記念特集号」に掲載します。採用分には謝状を差します。

「市報と私」をテーマに原稿募集

係者よりあらかじめ公開確認をしてお知らせし、資産課税へ問い合わせ

経済基盤の強化、地域文化の振興に果たす役割が大きい期待されています。

「市報と私」をテーマに原稿募集

未納市税の日曜相談

日時 2月16日、23日
(午前10時～午後3時)

場所 納税課 (本庁舎4階)

「市報と私」をテーマに原稿募集

鳥屋野潟総合体育館
屋内プール一般利用中止のお知らせ

2月16日は大会（全岡ジュニアオリンピック春季水泳競技大会兼日本室内選手権水泳競技大会県予選会）のため屋内プールの一般利用はできません。なお西海岸プールは平常どおり開館しています。

（国立）石川身体障害者職業訓練校
昭和61年度 訓練生募集

募集科目 製版印刷科、一般事務科、トレース科、電子機器科、洋裁科、陶磁器科

応募資格 身体障害者手帳の所持者
願書提出先 3月20日までに新潟公共職業安定所（願書は職業安定所内）へ
問い合わせ 詳しくは新潟公共職業安定所（〒951-44-0131）へ

市教育委員会	28-1000
所会課	29-6633
体育施設管理センター	66-8111
火災の場所を知りたいとき	24-1111
市民センター	41-5151
病室	86-1034
保健所	43-5311
石山区保健センター	86-4450
鳥屋野地区保健センター	85-2373
北地区保健センター	59-7332
西地区保健センター	66-5171
西地区保健センター	62-3405
坂井輪地区保健センター	60-3255
市医師会休日急患診療センター	31-4135
東興科医師会休日急患診療センター	83-3030

電話案内

20歳を迎えた
市政テレビ

放送日時 2月16日(日)午前8時15分～8時30分
放送番組 BONNチャンネル「にいがた」

「市報と私」をテーマに原稿募集



「行かなければならない」1933年作、素描

亡命の年、二月から十月にかけてクレールは一連の素描を約二百点制作し、若いころ風刺画という方法で扱った「人間」を、再び主題の中心に据えました。

個人を超えた力にもあはれ、踊らされる人間の感情を即興的に描いたこれらの作品は、フアシムの嵐が吹きすさび、個人の尊厳や人間の自由をおとしめられ、無力化された時代に巡り合わせればならなかったクレールの心の動きを生々しく伝えていきます。

別れの情景を描いたこの絵に漂う悲しさは、運命の力にほんろうされる一人であること、自ら死したクレールの、自らを眺める気持ちでもあったに違いないと推察します。

観覧料 一般七円、大・高生五百円、小・中学生三百円、開館時間 午前九時～午後四時半、休館日 月曜日

パウル・クレール展
2/13～3/16